



浅小HP  
QRコード

# あさなひ

令和3年11月8日(月) No.23

文責：校長 矢田部瑞穂

## 全校合唱とうとう涙腺崩壊でした!

10月31日は「学習発表会」および「浅show祭」においていただき、ありがとうございました。上のタイトルにある「全校合唱とうとう涙腺崩壊でした!」は、保護者の方からの感想の一部です。190名もの方々に温かい拍手をたくさんいただいたことで、子どもたちは自分に自信をもってこれからも学校生活を送ることができます。また、下に一部掲載しましたが、今年度もたくさんの方が感想をお寄せくださいました。その言葉の数々は、子どもたちや教職員にとって間違いなく大きな励みになります。本当にありがとうございました。

◆写真の説明◆〔右写真：上から〕★1年「大きな芋」大きな芋を引っ張る(左から)IS・HN・YK・IK★2年3年「花さき山」素晴らしい表現力(上)NY(下)HF★全力で声を出して演技する(左から)SS・KK〔左写真：上から〕★4年「未来地図2021」一点を見つめて夢を語るTK★5年「浅小応援団」全身全霊の応援(左)IS(奥)HD★6年「やってみよう」キレキレに踊るKK



### うれしいお便り

- 1年生初の発表会は楽しみな反面不安もありましたが、よい意味で裏切ってくれた8人でした。声もしっかり体育館の後ろまで届き、息もぴったり!友達を気遣う場面も見られ1年生とは思えないくらいの立派な成長ぶりは、先生のご指導の賜です。
- どの学年の子も元気に楽しく発表していて観ていて楽しかったです。特に我が子のいる2・3年生の劇は感動しました。浅show祭も、地域の文化に触れられるような内容で、意識的に伝統について知る機会を設けることはとてもよいことだと思いました。
- 各学年の発表は声が大きく、どの内容も見事でした。最後の全校合唱はとうとう涙腺崩壊でした。すばらしい歌声でした。浅show祭もスタンプラリーで回れるように工夫されていて、楽しさが増しました。
- 体も声も立派になった4年生。高学年としての立派な姿が親から少し離れたようで少し寂しさも感じましたが何より健やかに育った子どもたちに目頭が熱くなりました。
- 素晴らしい発表でした!5年生の学生服姿もすごくよかったです。
- 素晴らしい発表会でした。子どもたちのまっすぐさや先生方との関係のよさが感じられとても温かい気持ちになりました。
- 6年生はさすが!と思わせてくれる劇とダンスでした。また、最後の全校合唱も胸が熱くなり、子どもたちの声の勢いに圧倒されました。先生方のご指導に感謝いたします。大きな感動を与えてもらった素晴らしい浅小劇場でした。



実行委員のみなさま



野沢様手書きポスター



昔遊びコーナー



## 浅show祭

なごめはぎコーナー



宝物展コーナー



## ここからスタート!確かな「はじめの一步」

### ★浅show祭実行委員の皆様★ (敬称略)

- ・今野清孝・松村恵季奈・保坂智之
- ・大塚義道・児玉睦子・袴田弘子
- ・佐々木久美子・原田正胤・金谷幸平
- ・池田洋・原田一也

### ★宝物展に出品いただいた皆様★ (敬称略)

- ・平川瑠璃子・池田伸生・保坂純蔵
- ・石川ひろ・佐々木悦子・武田幸子

ここに記載させていただいた方々の他にも準備や片付けにお手伝いくださった応援隊の方々がたくさんいらっしゃいました。心からありがとうございました。

学校運営協議委員の今野清孝さんが校長室を訪れ、「特認校をきっかけに浅内祭りを開催して浅内地区の盛り上がりアピールしていかないか」と提案してくださったのは、昨年度の終わり頃であったと思います。その思いを有り難く受け止め、なんとか形にしたいと思いました。そこで、運動会の時に、PTA三役の方々にその話を持ちかけ、学習発表会と同時開催を目標にすることにしました。本格的に動き出したのは夏休み。学校運営協議会委員、浅内小学校応援隊各部の部長、地域学校協働活動推進員、そして、PTA役員にお集まりいただき、浅内祭りの趣旨を説明しました。今野さんの原案を元に、校長は熱い思いだけが先走る説明でありましたが、賛同くださり、その場で実行委員会が発足しました。その後も何回も集まっていた中で「浅内小を思い、浅内地区を盛り上げようとする『地域力』で持続可能なイベントを実施していくこと」ができることを実感しました。今年度は、コロナウイルス感染症対策が必須となる中、何ができるのか、そもそも実施してもいいのか、実行委員の皆様のご苦労は続きましたが、「できることを、特認校モデル校スタートのR3に開催することに意味がある」と考え、私たちに迷いはありませんでした。子どもたちの笑顔のために！ただその一点に向かい関係者の方々のご尽力は圧巻でした。そして迎えた10月31日、「浅show祭」当日。子どもたち・保護者の皆様・地域の方々が一堂に会し、楽しそうに集う姿に、嬉しさと安堵を覚えた最高の一日となりました。

11月1日、祭り翌日、宝物を貸していただいた皆様にお礼に伺いました。どの方も「浅show祭」盛會を喜び、私の車が去るまでずっとお見送りしてくださいました。バックミラーに映るお姿を拝見しながら、改めて学校は地域に支えられていることを思いました。コロナ禍のR3に実施したこの「はじめの一步」は、皆様のおかげで「確かな一步」になりました。関係者の皆様、本当にありがとうございました。